

▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の< > () [] は敬密にする。

質問番号 213	地図番号 201	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (/)
項目名 うま			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
2762.61	ma <この部落にはいない>	
2783.06	<古> oma	mma.
2795.01	omma [古]	mma.
3689.38	mma. 今は牛が多い	
3702.81	ma?	makko.
3705.42	<古> oma	mma.
3727.21	オマ <馬喰の語>	
3736.56	ンマ (飼っているか少ない.)	
3744.18	マッコ (仔馬)	ンマ
3746.09	üma 少ない	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記	ページ
項目名 うま		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(Z)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3747.45	ンマ (少し飼っている。)	
3752.53	mma 古くからたくさんいる。	
3755.32	ンマ (もと御料牧場、種畜農場があった。)	
3756.40	ウマ くとも	ンマ
3757.09	da:da: 〈御するときの掛け声〉	uma.
3760.93	mma. 〈戦前は馬産地だったから今はほとと、みかけぬ。〉	
3767.87	ドド 〈幼カ〉	ウマ
3776.97	ウマ, 71.4.13付 調査者からの返信により補充。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	③ 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ
項目名 うま			(3)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3785.68.	ソマ, 71.4.13付. 調査者からの返信により補充。	
4609.07	mma. (最近ではほとんどのうまが以前には飼われていた)	
4637.20	mma. (今は飼われていないが昔は島内の牧原に放牧し農耕の時利用したという。)	
4638.43.	mma. : 113か? しかし、少ない。#にかかりつつある。	
4639.10.	mma <昔はいたが、今はいない。>	
4639.69	mma. <今はいないか? 昔は相当いた。>	
4648.59	mma. <馬は隣県山形県小国地方から買入れたが、山道を通り移入するとは、馬にとって"命かけ"の危険な道中であった。>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (4)
項目名 うま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4663.49	mma. 昔は全く居らず、見た事もなかった。最近 は荷馬車用に食司う者がいる。	
4666.57	mma 〈共. 上〉	
4675.62	mma. (今. 部落に一匹いるのみ。昔はもうた るくいたという。然し漁師町であるゆえに のであらう。)	
4703.18	mma. 〈昔は多く居たが、今は全然いなくなった〉	
4712.54	uma 〈稀〉, mma 〈まんまを発音〉	
4713.02	mma 〈新〉	
4715.33	makko 〈子〉	mma.

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号 Z13	地図番号 201	① 普通注記	ページ
項目名 うま		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(5)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4724.75.	mma <新>	mma
4741.44	ンマ, 馬を飼っている人は特殊な人に限る(馬車 ひき, 競馬用の馬を育てる人など)	
4743.61	mma, <ななて. 2a:3は. 牛ばかりにまた。>	
4750.32	トドンマ (児) 今は, ほとんど飼っていないが, 子 供の頃は牛でなく馬を飼っていた。	ンマ.
4753.76.	mma. <馬は部落に平均して1頭くらいしか 飼って居る非常に少ない。ほとんどが牛である。>	
5499.98.	ウマ. 全く漁村(丹後ちりめん家内工場) であり農地なし。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記	ページ (6)
項目名 うま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5548.24	uma〈共〉	mma.
5568.57	〈共, 新〉うま	! ンマ
5599.44	うま〈共〉	ンマ
5609.81	mma, 運搬に馬を使う。	
5612.39	ンマ. 在る農家には, 牛が"あ", 馬は"ほと"と云。	
5612.98	ma 〈古〉	mma.
5614.68	* mma, はじめ uma とした。	
5617.85	do:do:mma 〈子〉	mma.
5620.80	ma, 二の三少なくなった。戦時徴用のためと, 機械化のためと。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記	ページ
項目名 うま		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(7)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5623.42	uma <共>	ma
5635.65	ウマ (共) <ウマ ワイトモイ>	
5643.33	mma, umma <両方 区別なく使う。>	
5644.74	ウマ (共)	
5645.89	ンマ <古>	ウマ
5647.56	ウマ <アマムラテ 6.7トオ 20ネンマエ カッテイイ。 >	
5655.57	ウマ (共)	
5657.73	ウマ (共)	
5663.01	uma <この町には食詞、ていふ。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 20/	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (8)
項目名 うま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5666.18,	うま(共)	
5666.22	ヒンヒン〈子〉	うま
5674.54	uma 〈共〉	umma.
5676.28,	mma. 〈昔は、ゆかたの今は、非常に少く、 町で数頭程度。昔は草競走ともあった。〉	
5680.34	dondo 〈子〉	umma.
5682.34	uma. (家の中に馬屋があって、そこは今、物置 のようになっているが、かつては、かなり多く飼われて いたことを物語っている。)	
5685.37	umma. 昔は飼っていた。十文字峠をこえて	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (9)
項目名 うま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	馬喰か。貨物運搬のため、13馬を連れてきたものだ。 今はほととひまゐ。私家のとまりにも馬喰一棹打う まれのーがいた。	
5699.25.	mma. 〈一昨年(貞)から飼っている人がいなくな った。但し、馬を見まゐと言うのではまゐ。〉	
5710.29.	mma. 市街地にはいまゐが、市内にはいる。	
5713.65.	mma, 市街地には飼つてゐまゐ。	
5714.10.	mma, 運搬用に使われていた。巻文頭が トラックに代えられた。	
5733.02	do:do: [思]	mma.

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記	ページ
項目名 うま		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(10)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5741.25	mma, 別に調査して他の被調査者によれば, mmame. である。	
5741.30	mma 〈大正のはじめまでは一戸一頭はいた。たんたんすくなくなり、現在は40戸の油河内に2頭しかいない。〉	
5761.27	mma (食飼ってはいるがすくない。町全体でも数えるくらいであり、調査地点の長岡部落には2頭しかいない。そしてそのうちの1頭が被調査者によつて飼われている。)	
5762.41	mma 〈この地方で馬は食飼ってはいるがすくない。大谷川部落には馬はいない。〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 20/	(A) 普通注記	ページ (11)
項目名 うま		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5771.36	mma 〈昔は馬が多かったが、今は牛が多くなり、馬は少なくなった。〉	
5781.22	do: .子とむなげ。	mma.
5790.39	古 ma.	mma
6358.43	ドオドオ 〈子〉	ウマ.
6395.61	mma (Z) uma.	
6408.72	昔から牛が多く、牛で荷物を運搬した。馬は一匹もいなし。	
6410.77	オンマ 〈牛〉	オマ
6411.66	ウマ 〈新〉、*マ 〈古〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	<input checked="" type="checkbox"/> A 普通注記 <input type="checkbox"/> B 除いた共通語 <input type="checkbox"/> C 除いた特殊語	ページ (12)
項目名 うま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6412.12.	オンマ〈子〉	オマ.
6412.91	uma〈古〉	ma.
6413.10.	uma〈新〉	ma
6413.43.	üma〈上〉	ma
6414.25.	do:do (小児語)	mma.
6416.58.	トオトオ〈子〉	ウマ
6418.75.	ンマ (馬を見るとは稀である.)	
6419.50.	ンマ (馬はほとんど見ない.)	
6420.58.	オマ〈古〉	ウマ
6426.47	mma〈古〉	uma

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 2/3	地図番号 20/	<input checked="" type="checkbox"/> ① 普通注記 <input type="checkbox"/> 〔B 除いた共通語〕 <input type="checkbox"/> 〔C 除いた特殊語〕	ページ (13)
項目名 うま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6446.05	トオドオ〈子〉	ンマ.
6446.43	トオドオ〈子〉, ヒンヒン〈子〉	ンマ.
6449.20	トヨイトヨイ, ハリキに	ンマ.
6464.90	トオト 〈子〉	mma.
6467.73	mma ① uma	
6470.59	ウンマ (普). ウマ (少)	
6476.13	ンマ. 〈この地には一匹もいない。〉	
6477.02	ンマ. 〈小豆島には戦後、の草壁には寒霞溪へ客を乗せるための馬が非常に多かた。〉	
6482.52	mma [疎負戸部落に、2-3頭いる。]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 20/	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (14)
項目名 うま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	甘崎部落には、数年前までいたが、今は一頭もない。大正時代までは馬の方が多かったのが、今は牛になってしまった。] 紹介者談	
6485.82.	ンマ、ウマと答えたが、あとでンマと訂正した。第三者が、ンマのはじめの音には文字がないと言って笑った。	
6494.08.	ンマ。〈このあたりは少しは居る。笠岡で七匹位。昔は多かったが、今は貨物自動車が増えて少くなったのである。〉	
6516.15.	〈幼〉ンマ。	ウマ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〈 () 〉は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	A 普通注記	ページ
項目名 うま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(15)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6551.77	mma. 〈陸便は馬力によったものだが、別に飼育していたわけではない。〉	
6565.22	うま. 〈昔、運送用に飼っていたが、今では全然居ない。それ頃も馬はオスに決っていた。メスは此の付近には居ず。自分も80年の間に一度見ただけである。〉	
6573.71	mma. 〈半年ほど前までは、一頭いて「馬力」に用いられた。とにかく最近ではトラックの進出で馬は不要になった。〉	
6583.19	mma. 〈但し、昔2頭飼っていた。堆肥を作るためである。今はいない。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (16)
項目名 うま			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6602.62	do:do<子>	uma.
6610.77	mma. 昔は宿駅だからうらでえうた。	
6621.94	do:do: <子>	uma.
6630.43	m・ma. [m・ma] の [m・] には多少唇の左右よりの狭めが観察される。	
6649.13	mma. <飼っていた時もある。たか冷ては牛に変っている。>	
6697.39	umma <子供に対して用いる。>	uma.
6697.59	umma <今も老人はこう言う。>	uma.
6710.02	uma. 1か. 全く馬を見えなくて知らない。木の馬	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記	ページ
項目名 うま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(17)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	を [jaro:uma], 又の馬を [onnauma], 少年生れた馬を [tozekko] と言う。	
7249.35	マ m:a (飼,てはいるか被調査者が 市内商家の己であるため詳しい別名を知らないと思われる。)	
7259.22	uma. 耕作には使わなかつた。	
7302.87	uma. (馬車曳取職なげで家農にはほとんといない。耕耘機が普及して来た,特にこの地方に。)	
7324.24	uma. (uかといふを打甲した。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 20/	④ 普通注記	ページ
項目名 うま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(1P)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7338.48.	mma. 〈村内には、いま、80才位の女の で、他に似たことのない者は全く知らない。〉 〔小学主でも、八幡浜あたりへ出た時に見ると非 常に珍らしくる。〕	
7341.47.	ドト〈子〉 dodo	mma.
7342.12.	mma ~ mma (F)	
7361.17.	ンマ. 〈最近牛は牛にかえられて少なくなった。〉	
7374.75.	mma, 〈昔は、道路がよくなかったから荷物 運搬のため馬が多く飼われたが、今は牛が 多くなった。〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 2/3	地図番号 20/	① 普通注記	ページ
項目名 うま		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(19)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7381.47	mma <昔から農家用の馬は一匹もない。引馬(馬車馬)が2.3匹いた事のある程度。田の中が又マルので馬は使えないのである。>	
7381.97	uma <馬は今全くいなうで牛ばかりである。大正年間から牛が多くなって来た。それ以前は馬ばかりであった。>	
7385.61	uma. 雄馬を koma, 雌馬を dama, 子馬を umaniko という。この辺は馬を飼っていない。	
7400.15	mma <昔は u なかった。終戦後に入ってきた>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	(A) 普通注記	ページ
項目名 うま		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(20)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7401.92.	^m ma. <農耕に使うとは、近年ほとんど見かけない>	
7402.42.	^m ma. <農耕にも使う。>	
7403.21.	^m ma. (ba (a (荷馬車) はかりでなく, ta: pimo tsukau. 牛よりも hakaga iku から ^m ma の方がよい由。)	
7404.12.	^mma do: <子> <幼い子供には、do: ga kijotuu のようにいう。>	
7406.53.	^m ma. 終戦後まではいた。	
7410.57	^m ma. <10年くらい前までは農耕にも使っていたが、今では自動耕耘機に変わっていった。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
項目名 うま			(21)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7412.71.	mma. <自動車 ^の 通じま ^し と=3も ^の い ^の て、木材 搬出用に使っている。>	
7416.34.	mma. <一里先に入 ^り て高知県に入ると、umat ^は い ^う >	
7431.82	mma. <昔、川津部落では飼 ^つ ていた。>	
7440.69.	mma. <荷運び用、土佐の十川村の方へ行 ^く た。>	
7502.22	mma. (昔、道楽に飼 ^つ た者はいる)	
7504.27	mma. 紀本 ^に 行かぬは、見られ ^な かった。今も い ^ま も。	
7523.74.	mma. 昔いな ^か た、戦後最近 ^に 馬力用 ^の か いた。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記	ページ
項目名 うま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(22)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8300.25	oyo 〈oyo oyo (馬を呼ぶ声)より〉	mma
8305.73	mma. 飼, ていふが, 左馬を koma, 此馬を damma, 子馬を ko'uma と言, てゐる.	
8333.03	dada 〈児〉	mma.
8343.97	dada 〈児. 右〉	mma.
9310.27	uma. 〈以前は. うまは. か. ら. ぬ. 〉	
1148.59	? mma.	
1156.89	? mma.	
1167.01	? mma.	
1169.84	? mma.	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〈 () 〉は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記	ページ
項目名 うま		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(23)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1221.47 1169.84	?ma:	
1231.72	?ma:	
1231.88	?ma:	
1233.61	?uma.	
1241.96	?ma:	
1242.00	?ma:	
1242.26	?uma.	
1250.59	?mma.	
1251.73	?mma.	
1251.98	?mma.	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >() []は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記	ページ
項目名 うま		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(29)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1260.78.	uma	
1260.87	uma	
1261.32.	uma	
1261.70.	uma. 戦前は飼っていた。今はない。	
1261.01	uma. 戦前いたが、今はない。	
1261.80.	uma	
1270.26	uma	
1270.29	uma	
1271.05.	NR. 概念的に知っている。馬は [uma] という。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 213	地図番号 201	① 普通注記	ページ
項目名 ゝ子		〔B 除いた共通語〕	(25)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1271.20.	Imma.	
2074.69.	Imma.	
2075.22.	Im:ma.	
2076.25.	Imma	
2076.96.	Imma.	
2076.97.	Imma	
2076.98.	Imma.	
2076.99.	Imma	
2085.69.	Im:ma	
2086.03.	Imma	

